

【事業名】
瀬田川洗堰

【位置】
淀川水系瀬田川

右岸：滋賀県大津市
南郷地先

左岸：滋賀県大津市
黒津地先



【事業の目的】

- 1 琵琶湖周辺の洪水防御
- 2 琵琶湖の水位維持
- 3 洗堰下流の宇治川、淀川の洪水流量の低減及び流水の正常な機能の維持並びに水道用水や工業用水の供給

【事業の概要】

◎瀬田川洗堰の諸元

区分	設 備		
	ゲート型式	門数	径間×扉高
本堰	鋼製二段式 ローラーゲート	10	10.8×6.114
バイパス水路	流量調節 ゲート	2	15×8.824 5×8.824
	流量調節 バルブ	1	φ1300
	発電施設	S型チューブラ型	1 φ782
	制水 ゲート	上ヒンジ式 フラップゲート	2 1

【工期】

瀬田川洗堰本堰 昭和32年10月～昭和36年3月
バイパス水路 昭和60年1月～平成4年3月

【事業の経緯】

- ・本堰
昭和29年度から 測量、土質調査に着手
昭和32年10月 模型による水理実験、締切矢板試験等
新洗堰建設着手
- ・バイパス水路
昭和60年1月 建設着手
昭和63年3月 漁業補償解決

問題点

- 1) 「河川管理施設等構造令」に合致していない。具体的には
 1. 敷高が計画河床高よりも高い（敷高-4.814m、計画河床高-7.614m）
 2. ゲート天端高が計画高水位より低い
（計画高水位BSL+1.4m、ゲート天端高BSL+1.3m）
 3. 径間長が基準径間長よりも狭い（現状 10.8m（10門）、基準 20m以上）
- 2) 連続性を遮断する（土砂・魚・舟・水）
- 3) 洗堰操作による人工的な水位管理が生態系に影響を与えているのではないかとの指摘がある。

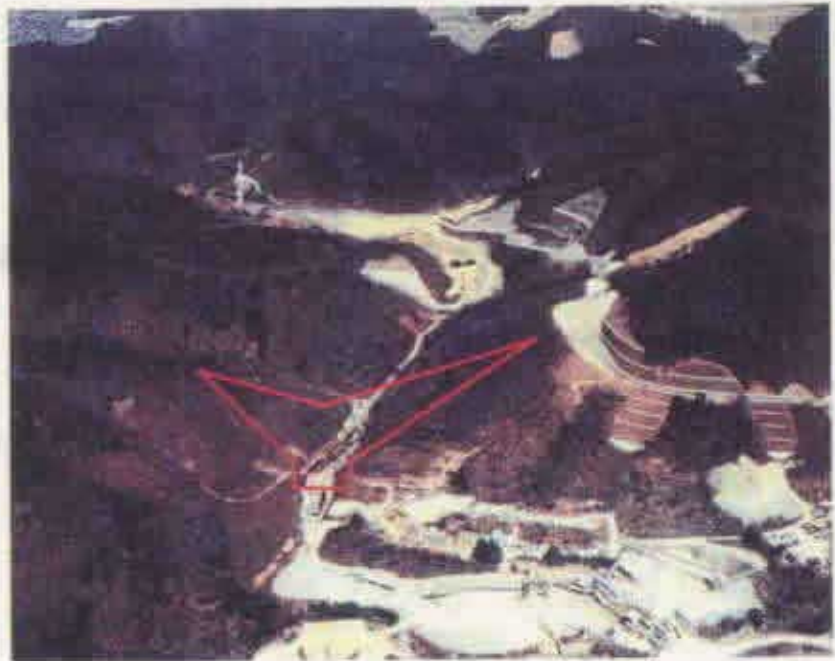
【事業名】

猪名川総合開発事業
(余野川ダム)

【位置】

淀川水系猪名川

右岸：大阪府箕面市
下止々呂美地先
左岸：大阪府箕面市
下止々呂美地先



【事業の目的】

1. 洪水調節
2. 流水の正常な機能の維持
3. 新規利水

水道用水	阪神水道企業団	90,000m ³ /日
	箕面市	10,000m ³ /日

【事業の概要】

- | | |
|--------|--|
| 1. 貯水池 | 0.7km ² |
| 集水面積 | 27.8km ² |
| | (直接；5.0km ² ，間接；22.8km ²) |
| 総貯水容量 | 17,600,000m ³ |
| 有効貯水容量 | 17,000,000m ³ |
| 洪水調節容量 | 11,200,000m ³ |
| 利水容量 | 5,800,000m ³ |
| 堆砂容量 | 600,000m ³ |

2. ダム

型式	重力式コンクリート
堤高	79.0m
堤頂長	414.0m
堤体積	490,000m ³

【工期】

昭和55年～平成17年

【総事業費】

500億円

【事業の経緯】

- 昭和55年4月 実施計画調査着手
- 昭和58年4月 建設事業着手
- 平成3年8月 基本計画告示
- 平成4年1月 基本計画(第1回変更)告示
- 平成5年3月 工事用道路着手
- 平成7年10月 用地損失補償基準の妥結・調印
- 平成12年3月 導水トンネル工事に着手
- 平成13年9月 基本計画(第2回変更)告示

【事業の進捗状況】

平成14年4月現在



- 市道付替1号線 875 m(100%概成)
- 市道付替2号線 2,000 m(計画中;数量等が変更となる可能性あり)
- 市道付替3号線 230 m(計画中;数量等が変更となる可能性あり)
- 市道大向線 300 m(0%)

【事業名】

天ヶ瀬ダム再開発事業

【位置】

淀川水系淀川

右岸：京都府宇治市

横島町横尾山地先

左岸：京都府宇治市

横島町六石地先



【事業の目的】

1. 洪水調節

- ・下流淀川・宇治川の洪水対策
- ・琵琶湖周辺の浸水被害の軽減

2. 新規利水

水道用水 京都府 0.6 m³/s
 発電 夏季期間の電力量の増強

【事業の概要】

1. 貯水池 1.88km²

集水面積 352km²

総貯水量 26,280,000m³

有効貯水量 20,000,000m³

洪水調節容量 20,000,000m³

2. 放水路

型式 トンネル式放流設備

延長 約600m

直径 11.3m(導流部)

設備 主ゲート2門

【工 期】

平成元年～

【総事業費】

330億円

【事業の経緯】

昭和 50年 予備調査開始
 平成 元年 4月 建設着手
 平成 7年 4月 基本計画告示
 平成 10年 3月 工事用道路着手

【事業の進捗状況】

平成14年4月現在

